



平成29年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月1日

上場会社名 アクセルマーク株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3624 URL <http://www.axelmark.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾下 順治
 問合せ先責任者 (役職名) 経理財務本部長 (氏名) 鈴木 啓太 TEL 03-5354-3351
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第3四半期の連結業績（平成28年10月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第3四半期	2,587	14.6	△201	—	△207	—	△215	—
28年9月期第3四半期	2,257	△4.2	10	—	5	—	△11	—

(注) 包括利益 29年9月期第3四半期 △211百万円 (-%) 28年9月期第3四半期 △20百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第3四半期	△49.39	—
28年9月期第3四半期	△2.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年9月期第3四半期	1,802	779	43.0
28年9月期	2,248	998	43.9

(参考) 自己資本 29年9月期第3四半期 775百万円 28年9月期 986百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年9月期	—	0.00	—	—	—
29年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年9月期の連結業績予想（平成28年10月1日～平成29年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,332	4.1	△267	—	△285	—	△294	—	△67.26

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年9月期3Q	4,370,900株	28年9月期	4,370,900株
② 期末自己株式数	29年9月期3Q	33株	28年9月期	33株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年9月期3Q	4,370,867株	28年9月期3Q	4,370,867株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるモバイルインターネットを取り巻く環境は、スマートフォンの出荷台数の増加や格安SIM及び大手通信キャリアの通信サービスの多様化により引き続きスマートフォン利用者の増加傾向が続いております。一方で普及のスピードは徐々に緩やかになってきました。モバイルコンテンツ市場においてはスマートフォンの普及速度と同様に成長速度の鈍化傾向が見られますが、インターネット広告市場は「2016年日本の広告費」(株式会社電通 発表)によるとモバイルシフトが進み、スマートフォン広告が伸長しており、引き続き市場の拡大が見込まれます。

このような市場環境の下、当社は「持続的成長構造の構築」を当連結会計年度の事業戦略に掲げて取り組んでまいりました。当第3四半期連結累計期間では「coscrea(コスクレア)」内で公式ライセンスグッズの販売を開始いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高2,587,732千円(前年同期比14.6%増)、営業損失201,519千円(前年同期は10,616千円の営業利益)、経常損失207,346千円(前年同期は5,023千円の経常利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失215,887千円(前年同期は11,684千円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

各セグメントの業績は、次の通りであります。

(モバイルゲーム事業)

「ワールドクロスサガ -時と少女と鏡の扉-」(以下「ワクサガ」)のスマホ版においては一周年記念イベントやコラボイベントなどの各種施策を実施いたしました。DMM GAMESプラットフォームで「ワクサガ」PC版のサービスを開始したことに加え、「ワクサガ」の海外版となる「馭時之輪」を香港・台湾・マカオにおいて配信許諾先より本格サービスを開始するなどマルチプラットフォーム展開を進めてまいりました。「キングダム -英雄の系譜-」は、各種イベントの実施により、引き続き堅調に推移しております。開発を進めているゲームタイトルは引き続き費用が先行して発生しております。

以上の結果、当セグメントの売上高は1,422,192千円(前年同期比37.6%増)、セグメント損失は50,669千円(前年同期は115,833千円のセグメント利益)となりました。

(広告事業)

スマートフォン向けアドネットワークサービス「ADroute」では広告表現の一つであるインフィード広告の展開やターゲティング広告の機能強化を図ったことにより売上高が伸長いたしました。また、「ADroute」での広告運用のノウハウを活かしたトレーディングデスクなどの新規サービスの展開を行っており、リソースの再配分など社内体制の整備を進めてまいりました。年度末の広告需要期が過ぎたこともあり、前四半期比では減収減益となりましたが、前年同期比では業績が伸びております。

以上の結果、当セグメントの売上高は1,162,472千円(前年同期比17.9%増)、セグメント利益は38,683千円(前年同期比73.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産については、現金及び預金が209,805千円、売掛金が186,599千円、その他の流動資産が69,440千円減少したこと等により前期末に比べて445,761千円減少し、1,802,772千円となりました。

負債については、買掛金が40,950千円、その他の流動負債が144,554千円減少したこと等により前期末に比べて227,625千円減少し、1,022,836千円となりました。

純資産については、親会社株主に帰属する四半期純損失を215,887千円計上したこと等により、前期末に比べて218,135千円減少し、779,936千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

売上高は、各セグメントで新規サービス等の展開により前年同期に比べ増加を見込んでおりますが、利益項目は新規タイトルの開発費等が引き続き先行して生じることで損失を計上する見込みとなります。

主な取組みとして、モバイルゲーム事業は事前登録を行っている「ディアホライゾン」のサービス開始に向けた準備を進めながら、今夏開催のコミックマーケット92へのブース出展を発表している「終幕彼女(エンドロール)」(プロジェクトコードネーム:ME)を含む開発中の各タイトルをヒットタイトルとするべく、開発を進めてまいります。広告事業は「ADroute」の機能の改善や強化を進め、トレーディングデスクの拡販に注力してまいります。

当社グループの事業を取り巻く環境が急速に変化しており、事業の成長速度を予測することが難しいことから、信頼性の高い通期の業績予想を算出することが困難なため、四半期毎に翌四半期の業績予想を公表させていただきます。

平成29年9月期通期業績予想(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

売上高	3,332百万円(前年同期比4.1%増)
営業利益	△267百万円(前年同期は377百万円の営業損失)
経常利益	△285百万円(前年同期は385百万円の経常損失)
親会社株主に帰属する当期純利益	△294百万円(前年同期は458百万円の親会社株主に帰属する当期純損失)

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,347,955	1,138,149
売掛金	437,183	250,584
仕掛品	106,199	66,693
貯蔵品	1,647	1,774
その他	131,074	61,634
流動資産合計	2,024,060	1,518,836
固定資産		
有形固定資産	46,250	56,559
無形固定資産		
のれん	38,263	837
その他	1,877	76,655
無形固定資産合計	40,140	77,492
投資その他の資産	138,082	149,884
固定資産合計	224,473	283,936
資産合計	2,248,534	1,802,772
負債の部		
流動負債		
買掛金	204,951	164,001
1年内返済予定の長期借入金	33,000	33,000
未払法人税等	6,924	4,480
賞与引当金	32,335	17,408
その他	325,500	180,946
流動負債合計	602,712	399,836
固定負債		
長期借入金	647,750	623,000
固定負債合計	647,750	623,000
負債合計	1,250,462	1,022,836
純資産の部		
株主資本		
資本金	563,900	563,900
資本剰余金	1,117,172	1,117,172
利益剰余金	△684,882	△900,769
自己株式	△25	△25
株主資本合計	996,165	780,277
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△9,368	△4,320
その他の包括利益累計額合計	△9,368	△4,320
新株予約権	2,872	2,827
非支配株主持分	8,402	1,151
純資産合計	998,071	779,936
負債純資産合計	2,248,534	1,802,772

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)
売上高	2,257,920	2,587,732
売上原価	1,412,322	1,795,174
売上総利益	845,598	792,558
販売費及び一般管理費	834,981	994,077
営業利益又は営業損失(△)	10,616	△201,519
営業外収益		
受取利息	493	100
為替差益	—	1,606
事業譲渡益	830	—
受取手数料	900	1,270
保証金等返還益	—	2,009
その他	121	537
営業外収益合計	2,345	5,524
営業外費用		
支払利息	2,285	4,755
株式上場関連費用	3,880	4,702
投資事業組合運用損	1,526	1,740
その他	246	153
営業外費用合計	7,938	11,351
経常利益又は経常損失(△)	5,023	△207,346
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	5,023	△207,346
法人税、住民税及び事業税	17,783	9,593
法人税等合計	17,783	9,593
四半期純損失(△)	△12,760	△216,940
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,075	△1,052
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△11,684	△215,887

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純損失(△)	△12,760	△216,940
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,672	5,048
その他の包括利益合計	△7,672	5,048
四半期包括利益	△20,433	△211,892
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△19,357	△210,839
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,075	△1,052

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(連結納税制度の適用)

当社及び一部の連結子会社は、第1四半期連結会計期間より連結納税制度を適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年10月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	モバイル ゲーム事業	広告事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,033,218	985,141	2,018,359	239,560	2,257,920	—	2,257,920
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,203	1,203	—	1,203	△1,203	—
計	1,033,218	986,345	2,019,563	239,560	2,259,124	△1,203	2,257,920
セグメント利益	115,833	22,365	138,199	28,567	166,767	△156,150	10,616

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンテンツ事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内訳
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	138,199
「その他」の区分の利益	28,567
全社費用(注)	△156,150
四半期連結損益計算書の営業利益	10,616

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社管理費用等であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年10月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	モバイル ゲーム事業	広告事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,422,192	1,162,472	2,584,665	3,066	2,587,732	—	2,587,732
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,422,192	1,162,472	2,584,665	3,066	2,587,732	—	2,587,732
セグメント利益又は損失 (△)	△50,669	38,683	△11,986	△39,263	△51,250	△150,269	△201,519

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンテンツ事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内訳
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△11,986
「その他」の区分の損失	△39,263
全社費用(注)	△150,269
四半期連結損益計算書の営業損失	△201,519

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社管理費用等であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、平成28年9月1日付でコンテンツ事業を譲渡したため、報告セグメントを従来の「モバイルゲーム事業」「広告事業」「コンテンツ事業」の3区分から、「モバイルゲーム事業」「広告事業」の2区分に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。